



会員限定 VC25

ビタミンC

Ascorbic Acid Injection

点滴療法研究会マスターズクラブ会長の柳澤厚生先生が完全監修された国内製造の高濃度ビタミンC製剤(試薬)です。柳澤先生が原材料・製造方法に拘り製作しました。現在、点滴療法研究会マスターズクラブ会員様限定のご案内です。

特長：高品質な原材料・常温保管・防腐剤フリー・20本～発注可

高濃度ビタミンC点滴（10g以上）には、防腐剤の入っていない安全なビタミンC製剤が必要です。ビタミンCは温度変化によって不安定になるため、製造工場からクリニックまで2～8℃の冷蔵保管が義務づけられています。マイランのビタミンC製剤は、冷蔵空輸によって日本へ出荷される、安全性の高いビタミンC製剤です。

(株)メディスタ

※試薬でのご提供

マイラン
(輸入代行：VC 受注代行センター)

ビタミンB群

会員限定 VB MIX

点滴療法研究会マスターズクラブ会長の柳澤厚生先生が監修された国内製造のビタミンB群配合試薬。本剤+VC+Mgでマイヤーズカクテルが完成。現在、点滴療法研究会マスターズクラブ会員様限定のご案内です。

特長：高品質な原材料・常温保管・防腐剤フリー・20本～発注可

(株)メディスタ

※試薬でのご提供

グルタチオン

台湾製グルタチオン

昨今、国産グルタチオン製剤の流通が制限されている状況から、安全な日本製原料を使用した台湾製のグルタチオン製剤をご紹介します。製薬会社である、TAI YU CHEMICAL & PHARMACEUTICAL 社製のグルタチオン製剤は、台湾で薬として国に認可されています。

※ご購入は、AOB MEDICALのウェブサイトより、会員登録（無料）が必要です。

TAI YU CHEMICAL & PHARMACEUTICAL
(輸入代行：AOB MEDICAL 社)

NMN / NAD+

完全β-NMN

NAD+ Injection

NMNには分子構造の異なるα-NMNとβ-NMNの2種類が存在し、人体で生成され、有益な効果を持つのはβ-NMNのみとされています。当社の取り扱うNMN製剤は、完全殺菌環境を作り出すために製造毎にオゾンガスを使用した殺菌を行い、粉塵・細菌が存在しない環境で製造し、保存液も一切使用していない純粋なβ-NMN製剤です。

一般社団法人NMN医療研究会

※試薬でのご提供

ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド (NAD+) は、抗老化において主要な重要性を持つとされており、これまでにコネキシン43 (様々な組織) およびP2X7ゲートドチャネル (神経細胞) を介して細胞内に直接入ることが示されており、点滴でNAD+直接補充しNAD+レベルを上げることでエネルギーの増加や代謝改善、認知機能向上、長寿やアンチエイジングなど効果として期待されています。

NAD CLINIC

※試薬でのご提供

エクソソーム

M2P-Exosome™

エクソソーム培養液 プレミアム
エクソソーム培養上清液

エクソソームに内包されている無数のマイクロRNAによる細胞老化の修復や慢性疾患等のリスク低減について、大学等研究機関で研究が進んでいます。M2Pエクソソームは、通常の脂肪由来幹細胞の5,000個に1つのエリート幹細胞のみをセレクトし、それを培養することで抽出。エリート幹細胞は若く、増殖速度も非常に速いのが特徴で、抗老化に特化したハイスペックなエクソソームといえます。

AZACLI

※試薬でのご提供

東京大学分子定量研究所および順天堂大学医学部との医療連携のもと、国内では稀有のMISEV基準に準拠した臍帯WJ由来エクソソームを提供。標準化された品質管理、効果の最大化、臨床応用のプロトコル作成、これらに透明性と再現性の確保を実現しています。

医道メディカル

※試薬でのご提供

会報誌の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

【発行元】点滴療法研究会 【発行月】2026.2

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-23-13 アルカイビル4F / Tel: 03-6277-3318 / E-mail: info@iv-therapy.jp

NEW AGE MEDICINE



2026
01
vol.20

Japanese College of Intravenous Therapy



点滴療法研究会

2025年 年次活動報告 就任のご挨拶

新国際ボードメンバー 許 崇恩先生
リーガルアドバイザー 入倉 進先生

点滴療法 症例報告

がんに対する高濃度ビタミンC
点滴療法が奏効した2症例
田中クリニック 理事長 田中 善先生

海外情報 学会参加レポート

ポルトガル統合医療学会(ICIM)2025国際会議

点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 松村 浩道先生

米国抗加齢医学会(A4M)2025総会

点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 森永 宏喜先生

2026年セミナー年間予定

2026



The Japanese College of Intravenous Therapy

点滴療法研究会 2025年活動報告

ご挨拶

2026年は飛躍の年
統合医療の未来へ、
一步先の加速を



会長
柳澤 厚生
Atsuo Yamagisawa MD, FICIT
点滴療法研究会マスターズクラブ 会長

点滴療法研究会は、会員数1,100名を超える組織として、日本における統合医療の発展を牽引する団体へと成長いたしました。日頃より研究会の活動をご支援くださっている先生方に、心より御礼申し上げます。

昨年は、国際メンバーとして台湾抗加齢栄養医学研究会が加わり、さらにポルトガルに本部を置くICIM: International Congress of Integrative Medicine国際学会を提携学会として参加したことで、当会はより国際的なネットワークを持つ学術団体へと歩みを進めました。世界の臨床と研究をつなぐ基盤が広がったことは、先生方の臨床実践に還元できる大きな力になるものと確信しております。

そして、来る20周年に向けて、今年は、統合医療の新たなステージに向けた「加速」の一年と位置づけています。点滴療法をはじめとする関連領域において、質の高いエビデンスと最新知見を迅速に発信し、「リベラルメディスン」の理念のもと、より自由で実践的な学びを提供してまいります。

午年は「前進」「躍動」「挑戦」を象徴するといわれます。大きく跳ね、まっすぐに走る馬のように、私たちも統合医療の未来を切り拓き、臨床の選択肢を広げる一年としたいと考えております。本年も引き続き、変わらぬご支援とご参画を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

予防医学の最先端情報を
発信する
学術プラットフォーム



事務局長
上符 正志
Masastji Uvahu MD
銀座上符メディカルクリニック 院長

新年あけましておめでとうございます。2026年が先生方にとって、学びと飛躍に満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

近年、一般臨床を専門とする先生方の間でも、未病・予防への関心が急速に高まり、臨床医療と予防医療の融合がこれまでにないスピードで進んでいます。エビジェネティクス、AI解析、代謝・炎症プロファイルなどの進歩により、病気を「発症してから治す医療」から、「発症前にリスクを可視化し整える医療」へのシフトが本格化しています。

点滴、栄養療法も従来の知識にとどまらず、ミトコンドリア機能、免疫調整、細胞環境の改善といった多面的アプローチとして臨床での価値が再評価されています。当研究会は今年、予防医学の最先端情報を発信する学術プラットフォームとして、一般臨床と予防医療の架け橋となる情報共有を一層強化してまいります。

多様なバックグラウンドを持つ点滴療法研究会の先生方が交流し、新しい医療を創り上げる一年となりますように。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

CONTENTS

03 / ご挨拶

04 / 点滴療法研究会 2025年活動報告

ボードメンバー紹介
新国際ボードメンバー、リーガルアドバイザー就任のご報告
2025年 国内活動
2025年 海外活動

12 / 2026年セミナー年間予定

14 / 点滴療法 症例報告

がんに対する高濃度ビタミンC点滴療法が奏効した2症例
点滴療法研究会ボードメンバー /
田中クリニック 理事長 田中 善先生

16 / 海外学会参加レポート

ポルトガル統合医療学会 (ICIM) 2025 国際会議 参加レポート
点滴療法研究会マスターズクラブ副会長 /
鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道先生
米国抗加齢医学会 (A4M) 2025 総会 参加レポート
点滴療法研究会マスターズクラブ副会長 /
森永歯科医院 院長 森永 宏喜先生

20 / 点滴療法研究会からのご案内

認定医制度 - 特典およびサポート -
会員サービス紹介

26 / 協賛企業のご紹介

点滴療法研究会とは

点滴療法研究会マスターズクラブとは、最新のエビデンスに基づいた点滴療法を提供する医師・歯科医師・獣医師を会員とするグループです。会員は患者様が安全に治療を受けられるよう常に技術を磨いています。

最新知見の
収集

学びの提供

安全で効果的な
点滴療法を日本の医療の
スタンダードに

会員ネットワーク
構築

一般認知
拡大

BOARD MEMBER

国内



事務局長

上符 正志
銀倉上符メディカル
クリニック 院長



副会長

松村 浩道
鎌倉元氣クリニック
院長



副会長

森永 宏喜
森永歯科医院
院長



名誉顧問

森 吉臣
東京予防医療クリニック
理事長



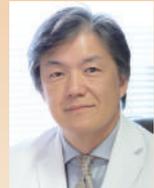
名誉顧問

水上 治
健康増進クリニック
院長



名誉顧問

芝田 乃丞
株式会社スピック
前会長



澤登 雅一
三番町ごきげん
クリニック 院長



古山 登隆
自由が丘クリニック
理事長



高島 正広
高島クリニック Q.O.L.研究所
- QUALITY OF LIFE INSTITUTE -
院長



平良 茂
ハートフルクリニック
院長



日比野 佐和子
SAWAKO CLINIC
xYS 統括院長



菅野 渉平
IVC分析センター
指導監督医



田中 善
田中クリニック
理事長・院長



喜多村 邦弘
喜多村クリニック
院長



廣田 順子
アリスどうぶつクリニック・どうぶつ
統合医療センター
院長



姫野 友美
ひめのともみクリニック
理事長

海外



イリエス・バグリ
(アルゼンチン)
国際オーソモレキュラー
医学会会長



アイリーン・パーフォード＝メイソン
(カナダ)
元トロン総合病院コンナッハ
頭頸がん研究所部長



スティーブ・カーター
(カナダ)
国際オーソモレキュラー
医学会事務局長



ダミアン・ダウニング
(イギリス)
英国環境生物医学会
会長



ジェームズ・グリーンブラット
(アメリカ)
ウォルデン行動医療病院
摂食障害部門部長



ロナルド・ハニハイキ
(アメリカ)
リオルダンクリニック
所長



スティーブ・ヒッキー
(イギリス)
オーソモレキュラー
医学会編集委員



ジョン・ホッフナー
(カナダ)
マギル大学
内科教授



トーマス・レヴィイ
(アメリカ)
リオルダンクリニック
コンサルタント



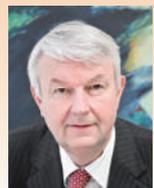
劉 輝雄
(台湾)
インベリアルクリニック
院長



ロベルト・オルティス
(メキシコ)
メキシコオーソモレキュラー
医学会会長



ニール・リオルダン
(アメリカ)
ステムセル研究所
所長



ガート・E・シュートメーカー
(オランダ)
前・国際オーソモレキュラー
医学会会長
医学雑誌ORTHO編集長



フランク・シャレンバーガー
(アメリカ)
米国オゾン療法学会
会長



ウェルマン・シュレラー
(アメリカ)
サンタフェアレルギー
環境医療センター所長



ブラッドフォード・ウィークス
(アメリカ)
ウィークス・クリニック院長

新国際ボードメンバーとリーガルアドバイザー就任のご報告

許崇恩先生が新国際ボードメンバーに就任いたしました



許 崇恩 (Charles Chung-En Hsu)
日本元氣診所 院長 / F.L.A.M.E. 会長

このたび、「点滴療法研究会 国際理事 (International Board Member)」に選出いただきましたことを、大変光栄に思っております。同時に、これまで支えてくださった先生方への深い感謝の気持ちで胸がいっぱいです。

栄養医学を職業として生きることを決めた後、私は世界各地を巡り、さまざまな栄養療法や抗加齢医療を学びました。しかし、多くの知識を得てもなお、自分の事業を立ち上げるだけの自信がなかなか持てずいました。

そんな私が方向性と勇気を見出せたのは、柳澤医師、松村医師との出会い、そして日本という、健康的で開かれた前向きな医療交流の環境に恵まれたおかげです。言うなれば、私は「点滴療法研究会」に育ててもらったようなものです。

このご縁があったからこそ、自信を持って一步一步自分の道を築くことができ、少しずつ経験を重ねた今、日本の医療界と交流し、微力ながら恩返しをすることができています。

こうして長い年月を経て、新たな形で「点滴療法研究会」と関わらせていただけることを、心から嬉しく思っています。柳澤医師をはじめ、点滴療法研究会の先生方、スタッフの皆さま、これまで温かいご支援とご励ましをいただき、心より感謝申し上げます。

この栄誉は同時に「より大きな責任」を意味します。これからも栄養医学と点滴療法の普及に努め、一人でも多くの方々が恩恵を受けられるよう全力を尽くしてまいります。このご恩と信頼に応えるために。

—— 許崇恩 医師
Dr. Charles Hsu

許崇恩先生略歴

長庚大学医学部卒業。林口長庚医院などを経て、現在は日本元氣診所院長として、抗加齢・予防医療の推進に尽力。科学的根拠に基づく抗老化 (アンチエイジング) 栄養医学を通じて、一人ひとりの体質に合わせた健康管理とライフオリティの向上を目指す。日本 SPIC Clinic Medical Partner 鎌倉元氣クリニックと提携し、台湾にて日式の精密かつ高品質な健康管理サービスを提供している。2024年には、アンチエイジング医学の国際的教育ネットワーク F.L.A.M.E. (For Longevity and Anti-aging medicine Ecosystem) を設立し、台湾で高濃度ビタミンC点滴療法認定医 35名を輩出。次世代の栄養・長寿医療の発展に貢献している。
長庚大学 医学部卒業 新店耕莘医院 健検医師 林口長庚医院 医師 鐘馨クリニック 美容・抗加齢医師 林口長庚整形外科 異体複合移植センター 研究医師 米国機能性医学認定医 (AFMCP+APMs) / 長庚青年賞受賞 台湾医学発展基金論文賞 3度受賞

入倉 進先生がリーガルアドバイザーに就任いたしました



入倉 進
堂島コネクト法律事務所 代表弁護士

この度、柳澤会長のお引き立てを賜り、点滴療法研究会のリーガルアドバイザーに就任致しました。

人は、体の調子が悪くなると普通はお医者様に診ていただきます。素人判断で行動しても確なことにならないことは、先生方も臨床の現場で体験されているかと思いますが、法律問題、紛争・トラブルも同じで、素人判断を避け、早め早めに専門家 (弁護士) に相談されることで軽く済みます。何事も餅は餅屋です。

医院を運営される以上、労務問題を始めとして法律問題を避けることはできません。また個人的なトラブルに巻き込まれることもあるでしょう (医師が病んでしまつては、患者様の治療どころではないでしょう)。早めに相談しておくことで避けられる病 (トラブル) も数多くあります。

小職は、大学卒業後に第一勧業銀行での勤務を経て弁護士になりました。弁護士になるまでに回り道をしましたが、その経験を活かして少しでも分かりやすく、専門用語を使わないご説明を心がけていますので、何事もお気軽にご相談いただければと思います。

入倉 進先生略歴

1992年 明星高等学校卒業
1996年 大阪大学法学部卒業
1996年 株式会社第一勧業銀行 (現:株式会社みずほ銀行) 入行
2001年 旧司法試験合格
2002年 最高裁判所司法修習生 (56期)
2003年 弁護士登録 大阪天満法律事務所に入所
2008年 入倉・牧法律事務所設立
2013年 梅田セントラル法律事務所パートナー
2021年 堂島コネクト法律事務所設立 代表弁護士に就任
コンメンタール公判前整理手続 (現代人文社) (共著) 時効管理の実務 (金融財政事情研究会) (共著)
自動車保険における暴力団排除条項 (季刊事業再生と債権管理 2012年冬号) (共著)
大阪弁護士会刑事弁護委員会委員、司法修習委員会委員 (指導担当弁護士)

2025年国内活動

2025

- 1月** 25日 **東京** 新春フォーラム 2025
「先駆者から学ぶ 未来を切り拓く知恵と戦略」
- 2月** 23日 **東京** ベーシックセミナー I
- 3月** 16日 **東京** 春の特別セミナー 点滴療法研究会 presents JSSCCS/JSPCM/JAIM/JSOM 後援
「最強のアンチエイジング医学 2025」
30日 **東京** プライベートセミナー
「点滴療法で実現するクリニック成長戦略 ～患者満足度向上と収益アップを目指して～」
- 5月** 25日 **東京** ベーシックセミナー I
- 6月** 22日 **神奈川** 点滴療法の基本実技講習会（入門編）
「もうはずさない！血管確保の実際」
29日 **東京** ベーシックセミナー II
- 7月** 26日 **大阪** 関西フォーラム
27日 **大阪** スペシャル ベーシックセミナー I
- 9月** 28日 **東京** 秋の特別セミナー
「導入するだけでは終わらない！3大点滴療法で飛躍する”実践応用セミナー”徹底解説」
- 10月** 12日 **東京** ベーシックセミナー I
13日 **東京** ベーシックセミナー II
26日 **東京** プライベートセミナー 対象：歯科会員
「点滴療法で実現するクリニック成長戦略 ～患者満足度向上と収益アップを目指して～」
- 11月** 30日 **神奈川** 点滴療法の基本実技講習会（入門編）
「もうはずさない！血管確保の実際」
- 12月** 7日 **東京** 【会員限定】高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会 / 試験

- 通年** **WEB** 【会員限定】キレーション療法認定医講習会 / 試験
- WEB** 【会員限定】オゾン療法認定医講習会 / 試験
- WEB** どうぶつへの点滴療法・栄養療法を臨床から学ぶ
- 4回開催** **WEB** 歯科医師のための点滴療法



2025年より、歯科医師のための点滴療法はWEB配信に！

国内活動報告

2025年度は、会場開催およびWEB開催で、年間22回のセミナーを開催いたしました。

▶ 1月 点滴療法研究会 新春フォーラム2025 先駆者から学ぶ 未来を切り拓く知恵と戦略

統合医療の最前線で活躍する点滴療法研究会ボードメンバーおよび会員の医師を講師に迎え、最新知見と実践的情報を共有する特別フォーラムを開催。講演では、グルタチオンや高濃度ビタミンC点滴療法の最新動向、オンライン診療モデル、腸内フローラ・微生物循環学、ホルモン検査と治療など多岐にわたる内容は、ご参加いただいた皆様より臨場に直結する内容として高い評価をいただき、有意義な学びの場となりました。

新年会は、ボードメンバーの先生方や参加者の皆様がともに交流し、活発な情報交換の場となりました。



▲上左から、松村副会長、澤登先生、伊藤先生
下左から、田中先生、上符先生

▶ 3月 春の特別セミナー 日本の最新医療を牽引する5つの団体が初集結！ 「最強のアンチエイジング医学2025」

5つの団体が初めて集結し、最新のアンチエイジング医学を幅広く紹介する特別セミナーを開催しました。幹細胞培養上清治療の実践的コツや国内外の最新動向、マイクロバイオームと抗酸化を取り入れたがん治療の新たな可能性、GLP-1ダイエット「リベルサス」の活用法、ビタミンAによるアンチエイジングなど、多岐にわたる内容を提供。各分野の臨床で活躍する豪華講師陣による講演は、参加者にとって実践的で有意義な学びの場となりました。



▲上左から、柳澤会長、溝口先生、青木先生
下左から、萬先生、野村先生

▶ **New** 3月・10月 プライベートセミナー 「点滴療法で実現するクリニック成長戦略」 ～患者満足度向上と収益アップを目指して～

点滴療法の導入をテーマに、疑問や不安を解消し、患者満足度向上とクリニックの収益アップを目指すセミナーを開催しました。参加者には、導入から定着までの具体的な道筋や明日から活用できる実践的ノウハウを提供。現場での課題を一つひとつ丁寧に解消し、点滴療法を活用することで患者満足度が飛躍的に向上し、クリニックの成長につながる方法を学ぶ有意義な場となりました。



▲参加された先生方 10月は歯科向け



国内活動報告

▶ 6月・11月 基本実技講習会(入門編)

鎌倉のクリニックにて、人気の「基本実技講習会(入門編)」を年2回開催いたしました。通常の座学のセミナーとは異なり、8名限定での開催です。

実際に参加者同士で血管確保の練習を行い、点滴製剤の作り方から穿刺までポイントとコツも学べる充実の内容です。これから点滴療法を導入される先生はもちろんのこと、既に点滴療法を実践されている先生にも、とても人気の講習会です。



▲講習会の様子▶



▶ 7月 関西フォーラム

大阪で関西フォーラムを開催しました。柳澤会長および関西地方の点滴療法研究会会員の先生を中心に、5名の医師・歯科医師による講演と情報交換を行いました。腸内フローラ移植を通じて微生物環境を大切にする医療の考え方や、環境と人の健康をつなぐ新しい視点が紹介されました。また、インプラント手術での高濃度ビタミンC点滴の良い効果が共有され、細胞外小胞体に関する最新の研究動向も解説。実践的なテーマを詳しく学ぶ充実したフォーラムになりました。



▲左から、松村副会長、森永副会長、田中先生、陰山先生、柳澤会長、石黒先生、加藤先生、城谷先生



▲懇親会

▶ 7月 スペシャルベーシックセミナー

2025年の「スペシャルベーシックセミナー」は初の大阪開催でした。通常のベーシックセミナーの内容に加え、特別講演として講師に堂島コネク法律事務所代表弁護士の入倉進先生をお迎えし、自由診療を行うにあたり、「知っておきたい法的規制」についてご講演いただきました。

3大点滴療法のアップデートや点滴手技動画、ランチョンセミナー、スイーツセミナーなど盛り沢山の内容で開催したセミナーは、約100名の先生方にご参加いただきました。



特別講演

堂島コネク法律事務所
代表弁護士
入倉 進先生



▲会場の様子



▶左から、森永副会長、田中先生、入倉先生、柳澤会長、松村副会長

▶ 9月 3大点滴療法で飛躍する“実践セミナー”徹底解説

点滴療法を臨床現場で活かすための“実践応用”ノウハウを徹底解説。自費診療で成功されているエキスパートの先生をお迎えし、患者満足とリピート率を高めるための秘訣を事例とともに紹介。また、患者様との効果的なコミュニケーションや信頼関係の構築、そしてスタッフとのスムーズな連携など、点滴療法を“クリニックの武器”へと進化させるための実践的ノウハウが提案され、点滴導入への課題がクリアになる有意義なセミナーとなりました。



◀左から、柳澤会長、根上先生、田中先生、森永副会長



座談会の様子▶

\\リニューアル\\ ▶ WEB開催 歯科医師のための点滴療法 ～臨床現場への導入と定着の秘訣～

歯科診療に特化し、点滴療法をスムーズに取り入れることで提供価値を高める方法が学べる人気のセミナーがオンライン開催としてリニューアル。具体的なプロトコル、豊富な症例、スタッフ教育や法的な課題まで導入に必要なノウハウが詳しく学べるセミナーです。



◀講師>
点滴療法研究会副会長
森永歯科医院 院長
森永宏喜先生

◀講師>
かとう歯科医院 院長
加藤通子先生

他学会出展

▶ 2025年 8つの学会に出展しました

- 6月 第35回 日本プラセンタ医学会大会
- 6月 第25回 日本抗加齢医学会総会
- 7月 日本臨床培養上清研究会 1dayセミナー
- 8月 第66回 日本人間ドック・予防医療学会学術大会
- 9月 日本アンチエイジング歯科学会 創立20周年記念学術大会
- 9月 国際栄養医学シンポジウム2025
- 11月 第7回 日本先制臨床医学会学術大会
- 12月 第2回 日本美容内科学会総会



点滴療法研究会マスターズクラブ会員の先生が各分野の学会でご活躍されました。

海外活動報告

7カ国・10回の学会およびイベントにおいて、様々な情報発信・情報収集を行いました。

3月

台湾

3月23日「F.L.A.M.E. (For Longevity and Anti-aging Medicine Ecosystem) Member's Forum」

3月23日、台北市のメトロポリタンホテル台北にて「F.L.A.M.E. (For Longevity and Anti-aging Medicine Ecosystem) Member's Forum」が開催されました。

本会は臨床経験と成果報告を目的とし、台湾の医師らによる点滴療法に関する講演が行われました。

当会からは松村副会長が特別講師として参加しQ&Aセッションを監修、現地の会員医師らと実践的な知見を深める機会となりました。



4月

タイ

4月9日 タイの医師にビタミンC点滴について講演

バンコクで開催された株式会社SPIC主催のイベントにおいて、当会会長の柳澤厚生先生がタイの医師らに、高濃度ビタミンC点滴、子宮頸がんワクチン後遺症、新型コロナウイルス感染や後遺症に対する治療などについて講演を行い、タイと日本の医師の交流を提案しました。



5月

フィリピン

5月29日 フィリピンの医師に点滴療法について講演

マニラで開催された株式会社SPIC主催のイベントにおいて、当会会長の柳澤厚生先生がフィリピンの医師らに点滴療法について講演を行いました。

また、その後のフリー対談では、ガーディアンズフォーヘルスアンドフリーダムの活動について紹介されました。

「私たちの子どもは私たちの未来です。子どもたちを守るために、ぜひ一緒に立ち上がりましょう」との呼びかけに、会場からは大きな拍手が寄せられました。



7月

台湾

7月20日「F.L.A.M.E. 高濃度ビタミンC点滴療法 認定医師特別講座」

Dr. Charles Hsuのご招待を受け、For Longevity and Anti-aging Medicine Ecosystem (F.L.A.M.E.)の会員医師を対象に、点滴療法に関する教育講演を行いました。

F.L.A.M.E.は、点滴療法研究会と姉妹提携を結ぶ学会であり、会員の活動意欲が高く、活発な学術交流が行われています。



◀「書籍出版記念特別対談」
2026年末には、柳澤厚生先生の著書『点滴でアンチエイジング』の中国語翻訳版が、新たにリニューアル出版される予定です。



9月

ルーマニア

9月25日「European Ozone Congress 2025」

9月25日から27日、ルーマニアのブカレストにて「European Ozone Congress 2025」が開催されました。医科・歯科・獣医領域のオゾン療法専門家が集結し、プレミーティングではワークショップも行われました。日本医療・環境オゾン学会にも所属する松村副会長は、同学会のメンバーと共に参加し、オゾン療法の最新知見や世界的動向について情報交換を行いました。



10月

カナダ

10月2日「第54回国際オーソモレキュラー医学会総会」

10月2日、カナダ・トロント市にて開催された国際オーソモレキュラー医学会に、柳澤厚生先生が出席されました。本学会では、名誉の殿堂入りとしてアメリカのポール・マリク先生が表彰され、柳澤先生がプレゼンターを務めました。

マリク先生はビタミンCが敗血症の死亡率を1/3にすると発表。またイベルメクチンを新型コロナウイルスの予防や治療、そしてワクチン後遺症の治療に使用して成果を上げられています。そして、今回はイベルメクチンががん治療に有用であることを発表されました。



海外活動報告

2025

11月

台湾

11月7日「2025 International Conference on GMI」

11月7日、台北にて「2025 International Conference on GMI」が開催され、各国の専門家が集結しました。GMIは灵芝由来のタンパク質で、多様な疾患への応用が期待されています。本会で松村副会長は「Preventive Medicine in Practice: Our Clinic's Approach and the Potential of GMI」と題し、臨床現場での実践とGMIの可能性について講演しました。



11月

アメリカ合衆国

11月8日「Cancer Care Reimagined」

米国カンザス州ウィチタのカンザス大学で開催されたがん治療の国際会議「Cancer Care Reimagined」において、当会会長 柳澤厚生先生がLife Achievement Award (生涯功労賞)を受賞されました。

当日は国内での講演と重なりご本人の出席は叶いませんでしたが、点滴療法研究会ボードメンバー、喜多村クリニック院長の喜多村邦弘先生が代理としてスピーチを代読し、トロフィーが授与されました。

本受賞は、柳澤先生が長年にわたり高濃度ビタミンC点滴療法の国際的な普及に尽力してきた功績が評価されたものです。



12月

ポルトガル

第7回「International Congress of Integrative Medicine」

12月5～6日、ポルトガル・ポルトにて欧州最大級の統合医療会議「7th International Congress of Integrative Medicine」が開催されました。2000名を超える参加者が集結した本大会にて、松村副会長はグルタチオンをテーマに講演を行いました。

世界各国の専門家と最新の知見を共有し、国際的な交流を深める貴重な機会となりました。盛大のうちに開催された総会の様子は別頁にて詳しく紹介いたします。



12月

アメリカ合衆国

第33回米国抗加齢医学会 (A4M) 総会

12月11日～14日、アメリカ合衆国ネバダ州のラスベガスにて世界最大のアンチエイジング医学、米国抗加齢医学会 (A4M) 総会「The Longevity Fest」が開催され、当会会長の柳澤厚生会長、上符正志事務局長、森永宏喜副会長他、当会会員の先生方がご参加され、最先端のアンチエイジング医学を学ばれました。

170名を超える専門家による220以上のセッションが開催され、日本の数年先を見据える上でも貴重な情報が共有されました。例えば、高気圧酸素療法 (HBOT) は日本に比べて応用範囲が広く、今後の注目テーマの一つとして紹介されていました。

参加者数は述べ9,000名以上、約500社の企業が出展する大規模な国際会議であり、また多数の催しも開催されました。盛大のうちに開催された総会の様子は別頁にて詳しく紹介いたします。2026年は12月11日～13日に開催予定です。



▲A4M創設者ロバート・ゴールドマン氏



▲トーマス・スレイブ先生



▲ニール・リオルダン先生



▲フランク・シャレンバーガー先生



▲会員の先生方と

ベーシックセミナー I

点滴療法の基本「高濃度ビタミンC点滴」「グルタチオン点滴」「マイヤーズカクテル」の具体的な処方内容と注意点をわかりやすく解説。また、料金設定やカルテ管理、同意書の作成など、自費診療に欠かせない実務情報も網羅。安心・安全な治療提供に必要な基礎知識を体系的に整理し、症例を交えながら、臨床現場で実践できるノウハウをお伝えします。

マスターズクラブ会員限定、WEB受講が可能です

3/1 日 東京会場

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
松村 浩道 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 / 鎌倉元氣クリニック 院長)

5/24 日 福岡会場

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
喜多村 邦弘 先生 (点滴療法研究会ボードメンバー / 喜多村クリニック 院長)

スペシャルベーシックセミナー

7/26 日 東京会場

通常の内容に加え、基調講演の講師に 大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学寄付講座教授の森下竜一先生をお招きします。

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
松村 浩道 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 / 鎌倉元氣クリニック 院長)
森下 竜一 先生 (大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 寄付講座教授)

10/11 日 東京会場

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
松村 浩道 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 / 鎌倉元氣クリニック 院長)

ベーシックセミナー II

プラセンタ、にんにく注射、αリポ酸、幹細胞培養上清、エクソソーム、NMNなど、最新の点滴療法に関連する栄養療法と共に深く解説。また、IgG遅延型フードアレルギーの基礎から検査結果の読み方、食事指導、デトックス療法までを学びます。そして、自費診療を成功に導くためにぜひ実践してほしい院内環境づくりや点滴療法のメニュー、料金設定、集患、経営の秘訣、スタッフ教育など、自費診療クリニック運営に役立つ情報満載のプログラムです。

マスターズクラブ会員限定、WEB受講が可能です

6/29 日 東京会場 10/11 日 東京会場

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
上符 正志 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 事務局長 / 銀座上符メディカルクリニック 院長)
前田 陽子 先生 (三番町でぎげんクリニック)

認定医講習会・試験

※講習会のみ受講も可能です。

点滴療法研究会では、真摯に点滴療法を学び、正しい方法で治療を提供できる医師を明確にするために、3種類の点滴療法認定医 (Master of IVC Therapy) 制度を設け、マスターズクラブ会員医師の質の保証としています。

通年

WEB開催

動画で学ぶオゾン療法のすべて/ オゾン療法認定医試験

オゾン療法は採血した血液と医療用オゾンガスを混合し、再び点滴で体内に戻す点滴療法です。アンチエイジングや免疫力アップなど、様々な目的で用いられています。本講座を受講し、認定医試験に合格後、症例を提出することにより認定医取得が可能となります。

【講師】
松村 浩道 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 / 鎌倉元氣クリニック 院長)
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)

通年

WEB開催

動画で学ぶキレーション療法のすべて/ キレーション療法認定医試験

キレーション療法は心臓病や動脈硬化の治療、環境汚染や食品添加物に対するデトックス治療として注目されている点滴療法です。本講習の受講及び教材 (動画付) にて事前学習することにより認定試験の受験資格が得られます。

【講師】
上符 正志 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 事務局長 / 銀座上符メディカルクリニック 院長)
澤登 雅一 先生 (点滴療法研究会ボードメンバー / 三番町でぎげんクリニック 院長)

12/6 日

会場 (東京)

高濃度ビタミンC点滴療法 認定医講習会/ 認定医試験

ビタミンCの基礎知識、リオルダンIVCプロトコル、他の併用療法など、高濃度ビタミンC点滴実践において大切な基本・応用を学びます。

※受験資格: 点滴療法研究会マスターズクラブ会員
ベーシックセミナーI・IIの受講
当日の認定医講習会受講

【講師】
石神 昭人 先生 (東京都健康長寿医療センター研究所 副所長)
澤登 雅一 先生 (点滴療法研究会ボードメンバー / 三番町でぎげんクリニック 院長)
松村 浩道 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 / 鎌倉元氣クリニック 院長)
前田 陽子 先生 (三番町でぎげんクリニック)

点滴療法研究会 特別セミナー

会場 (東京)

1/25 日

点滴療法研究会 新春フォーラム 2026

多領域の臨床現場で実践される点滴療法の最新知見と適応戦略を、点滴療法研究会の医師・歯科医師・獣医師6名が詳細に解説。日々の診療にすぐ役立つ具体的なノウハウから、最先端のトピックまで幅広く紹介。現場力を高める学びが凝縮された、実践的で充実した専門プログラムです。

【講師】
松村 浩道 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 / 鎌倉元氣クリニック 院長)
森永 宏喜 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 / 森永歯科医院 院長)
吉岡 容子 先生 (医療法人社 高梨医院 院長)
廣田 順子 先生 (点滴療法研究会ボードメンバー / アリスどうぶつクリニック 動物統合医療センター 院長)
植倉 弘智 先生 (NU CLINIC代表)
五十嵐 豪 先生 (五十嵐レディースクリニック 院長)

11/8 日

※詳しい内容は決まり次第、ウェブサイトにてお知らせいたします。

歯科医師向け特別セミナー / 獣医師向け特別セミナー

九州フォーラム

マスターズクラブ会員の先生方に臨床現場での症例や治療法などを発表していただきます。

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
喜多村 邦弘 先生 (点滴療法研究会ボードメンバー / 喜多村クリニック 院長)
赤木 純児 先生 (くまもと・TOKYO 免疫統合医療クリニック 院長)
重住 大乗 先生 (しげずみ歯科医院 院長)
竹中 美智子 先生 (医療法人女医によるファミリークリニック代表)

5/24 日 福岡会場

歯科医師のための点滴療法 臨床現場への導入と定着の秘訣

歯科治療における点滴療法の必要性と可能性、明日から使えるノウハウを具体的に解説し、現場への落とし込み「導入」と「定着」を目的とします。また、栄養療法・点滴療法のコンビネーションによるメリットについても解説します。

【講師】
森永 宏喜 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 / 森永歯科医院 院長)
加藤 通子 先生 (医療法人明新会理事長 かつう歯科医院 院長)

どうぶつへの点滴療法・ 栄養療法を臨床から学ぶ

どうぶつへの栄養点滴、CBDオイルの基礎や治療法、予防や治療に活用できるオーソモレキュラー療法を詳しく解説します。

【講師】
廣田 順子 先生 (点滴療法研究会ボードメンバー / アリスどうぶつクリニック 動物統合医療センター 院長)

通年開催 (WEB)

4/19 日

最強のアンチエイジング医学 2026

「老化に“先手を打つ”最新臨床戦略」
各分野のエキスパートが示す最新のエビデンスと臨床知見をもとに、再現性の高い治療法を実践的に学びます。自由診療の質向上と差別化を図る臨床導入型アンチエイジングセミナーをお届けします。

【講師】
宮川 路子 先生 (法政大学 教授 / 下北沢西口クリニック 院長)
宇野 克明 先生 (医療法人社団東京 MIT 理事長)
姫野 友美 先生 (点滴療法研究会ボードメンバー / 医療法人社団友徳発心ひめのともみクリニック 院長)
上符 正志 先生 (点滴療法研究会 事務局長 / 銀座上符メディカルクリニック 院長)



プライベートセミナー 「点滴療法で実現する クリニック成長戦略」

会員限定

患者満足度向上と収益アップを目指して、明日から実践できるノウハウをお伝えし、現場における導入から定着までの道筋をクリアに描きます。【10名限定】のプライベートセミナーだからこそ実現する濃密で深い学びをご提供。後日フォローアップとして、柳澤会長によるマンツーマンのオンラインコンサルティングも実施。個別の課題に寄り添い、より効果的なアプローチを提案します。

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)

3/29 日 東京会場

会員限定 点滴療法の基本実技 講習会 (入門編)

「もうはずさない! 血管確保の実際」

鎌倉元氣クリニックにて、高濃度ビタミンC点滴25gの前準備・セッティング・穿刺・抜針までの基本手技について学ぶハンズオン講習会です。

【講師】
柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
山口 かおる 師長 (鎌倉元氣クリニック 看護師長)

4/12 日・8/23 日・11/29 日 神奈川県鎌倉市

※2026年1月時点の情報です。内容・講師・開催の詳細は変更になる場合がありますので、最新情報は随時ウェブサイトにてご確認ください。

がんに対する高濃度ビタミンC点滴療法が奏効した2症例



医療法人仁善会
田中クリニック 理事長
田中 善 先生

点滴療法研究会ボードメンバー
高濃度ビタミンC点滴療法認定医
キレーション療法認定医

【略歴】

鳥取大学医学部医学科卒業。医学博士（大阪大学）。
日本内科学会認定医、日本腎臓学会認定腎臓専門医、日本透析医学会認定透析専門医、日本医師会認定産業医、健康スポーツ医。（一財）腸内フローラ移植臨床研究会代表理事、（一社）日本先制臨床医学会理事、（一社）日本オーソモレキュラー医学会理事、（一社）日本臨床培養上清研究会理事、（一社）老化制御医学会理事。（一社）プラネタリーヘルスイニシアティブ理事。

症例1 75歳男性

[診断]

悪性リンパ腫（FL:濾胞性リンパ腫）

[経過]

2020年9月:人間ドックのPET検査で胸椎、腰椎、頸椎椎体、胸椎横突起、左坐骨、両側頸部リンパ節、腹部リンパ節に異常集積を認め、悪性リンパ腫（FL）と診断。経過観察のみ。

2021年12月:IL-2R:785

2022年3月:左腋窩リンパ節腫大のため切除（5cm）。
<IL-2R 2月:845>

2022年4月:PET検査で増悪所見。

<IL-2R 4月:1059、7月:797>

2023年2月10日からIVC週1回開始（血中濃度測定により最終的に75g）。右頸部リンパ節増大傾向。

<IL-2R 1月:839、4月:777>

6月PET検査で横ばい（右腸骨リンパ節やや縮小）。IVC2週間に1回に減らす。抗がん剤を提案されていたが投与せず。

<IL-2R 6月:599>

2024年4月:CT検査で縮小傾向。体調良好。

6月左巣径リンパ節腫大。9月から縮小。

<IL-2R 6月:648、10月:720>

2025年2月左巣径リンパ節腫大に気づき、次第に増大（約7cm大）。

<IL-2R 1月:863、4月:1218>

5月からIVC週1回に増やす。

<IL-2R 6月:1183>

抗がん剤を提案されていましたが、次第に縮小傾向にあり、IL-2Rが低下したために投与せず。

<IL-2R 9月:940>

12月左巣径リンパ節腫大は縮小（約1.5cm）。

<IL-2R 12月:715>

[考察]

悪性リンパ腫の中でも濾胞性リンパ腫は進行が緩徐ですが、再発を繰り返す傾向があり、また悪性度が高くなることもあり、注意が必要です。しかし、この症例のようにIVCで増悪を繰り返していますが、そのたびにIVCの回数を増やすなどにより抗がん剤投与を回避しています。会社の代表取締役など社会的活動もされ、たびたび外国旅行もされており、抗がん剤投与などの治療をすることによるQOL低下のデメリットを考えると、IVCによりコントロールされている意義は高いと考えます。



症例2 76歳男性

[診断]

悪性リンパ腫（PTCL:末梢性T細胞性リンパ腫）

[経過]

2021年10月鼻ポリープ切除の際に、副鼻腔悪性リンパ腫（PTCL）と診断（左鼻腔、下鼻甲介腫瘍）。
<IL-2R 10月:464>

抗がん剤（BV+CHP療法）を施行されましたが、副作用（末梢神経障害増悪）のため、患者本人希望により1コースのみで中止。その後転院希望されましたが、抗がん剤拒否の場合の受け入れ病院がありませんでした。

12月3日重曹点滴希望にて来院（2022年1月18日まで12回施行）。

2022年1月21日からIVC開始（3月22日まで週1回ずつIVCと重曹点滴を交互に施行）。

3月17日PETでCRの所見。

<IL-2R 2月:400>

3月25日から週1回IVC単独とした（60g）。

<IL-2R 5月:405>

8月19日からIVC2週に1回とした。

<IL-2R 8月:453>

その後、IL-2Rも2023年2月:375、2024年8月:396、2025年12月350と著変なく、全身状態も良好に経過しています。



[考察]

悪性リンパ腫の中でPTCLは高齢者に多く、進行が速いとされています。今後も注意深く経過を観察しなければなりません。高年齢者でもあり、QOLの維持、向上という面でIVCという副作用のない治療法は試みる価値のある治療法と考えられます。



7th International Congress of Integrative Medicine



執筆：松村 浩道先生
点滴療法研究会マスターズ
クラブ副会長 / 鎌倉元氣クリ
ニック院長

師足の足音が聞こえ始めた12月5日から6日にかけて、ポルトガルの美しい港町ポルトにて開催された「7th International Congress of Integrative Medicine」に参加し、講演を行う機会を得ました。本大会は、ポルトガル統合医療学会 (SPMI) が主催する欧州最大級の統合医療の祭典であり、世界中から80名以上の演者、そして2,000名を超える医療従事者が集まりました。



Dr. Ana Moreira

今回、私がこの華やかな舞台に立つことになったきっかけは、遡ること3ヶ月前、9月にルーマニアのブカレストで開催された「European Ozone Congress」である出会いにあります。そこで素晴らしい講演を行っていたのが、本大会の主催者であり大会長を務めるDr. Ana Moreiraでした。彼女の情熱的かつ学術的な発表に感銘を受けた私が講演後に話しかけたところ、意気投合し、その場で「今度ポルトガルで kongress を主催するから、ぜひ貴方にも登壇してほしい」と招聘を受けたのです。彼女はポルトガル統合医療学会の創設者かつ現会長であり、オゾン療法や生物学的医療にも精通した、まさにこの分野を牽引する存在です。



ICM会場

kongress 前日、Anaからは、他のVIPスピーカーらも集う自身のクリニックでのウェルカム・カクテルへ、温かいメッセージと共に招待を受けました。洗練された空間の中で行われた前夜祭は、各国のエキスパートたちと膝を突き合わせて語り合う貴重な時間となりました。特に親交を深めたのが、セルビアから参加していたProf. Dr. Dušan Vešovićです。彼はベオグラード大学医学部の教授であり、セルビアにおける統合医療のバイオニアとして知られています。労働衛生学と統合医療を融合させた彼の視点は非常に示唆に富んでおり、国境を越えた医学談義に花が咲きました。



Prof. Dr. Dušan Vešović

迎えた kongress 当日、会場となったExponor (ポルト国際見本市会場) は、開場と同時に熱気に包まれました。メイン講堂に加え、オーソモレキュラー医学、バイオハッキング、審美・長寿医学など、テーマごとに分かれた複数の会場で行われてセッションが行われましたが、私が(良い意味で)驚かされたのは、オゾン療法に関するセッションの充実ぶりです。残念ながら、現在の日本において統合医療におけるオゾン療法の地位は、未だ確立されているとは言い難いのが実情です。しかし、この欧州の地において、オゾン療法はすでに統合療法の「スタンダード」の一つとして、確固たる地位を築いているように見受けられました。多くの専門家が当たり前のようにその臨床応用を議論する姿を目の当たりにし、日本と世界との温度差を痛感すると同時に、オゾン療法の可能性を再確認できたことは、私にとって大きな収穫でした。

この欧州最大の檜舞台で、私は「More Than an Antioxidant: Revisiting Glutathione's Multifaceted Roles」と題して講演を行いました。グルタチオンの持つ抗酸化作用にとどまらない解毒、免疫調整、細胞内シグナル伝達といった多面的な役割について、その真価を再評価しました。

今回のポルトガル遠征は、単なる学会発表の枠を超え、欧州における統合医療の潮流を肌で感じ、志を同じくする世界中の「同志」との絆を深める旅となりました。この経験を今後の日本の点滴療法、ひいては統合医療の発展に還元していきたいと思っております。

A4M LongevityFest 2025 参加報告 ～LifespanよりHealthspan～



執筆：森永 宏喜先生
点滴療法研究会マスターズ
クラブ副会長 / 森永歯科医院
院長



Founder Remarks で登壇する
Dr. Robert Goldman
A4Mは創立33年を迎えた



2000人以上収容のメイン会場の他に、多くの小会場で分野ごとのセッションが展開される

2025年12月12～14日、米国アンチエイジング医学会 (A4M) 最大のカンファレンス、The Longevity Fest がネバダ州ラスベガスのVenetian Expo & Convention Centerで例年通り開催されました。この年次大会は、3日間で9,000人超の医療従事者が参加、170名を超える専門家による220以上のセッションという桁違いのスケールを誇ります。筆者は認定医を取得した2015年以来、新型コロナウイルスによる渡航制限期間を除いて毎年現地に赴き、最新の潮流にキャッチアップしています。

日本からも多くの参加者がありますが、今回おもに行動を共にさせて頂いたのは柳澤会長、上符事務局長、当会歯科セミナーを私と共に担当頂いている加藤通子先生、九州フォーラムはじめ各方面でご活躍の友枝 亮先生、そして今回初参加の西田 幸紀先生でした。

■Keynoteから見た全体トレンド：
寿命 (Lifespan) より「健康寿命 (Healthspan)」
毎年招聘される基調講演者 (keynote speakers) によって明確に提示された今大会の潮流は、単なる長寿ではなく①脳寿命 (Brainspan)、②筋寿命 (Musclespan)、③代謝・免疫・腸の相関 (Triad)、さらに④自律神経を長寿の「上流の設計図」ということで、これを踏まえた上で各レクチャーに臨んでいきました。



移動も可能なHBOTカプセルを
体験後の筆者

■事前WSから参加
前日の11日にはPre-conference Workshopが毎年開催されます。NAD+やグルタチオン、NO、睡眠など複数介入を組み合わせる「Biostacking Longevity」のセッションに加藤先生と共に参加。テーマを絞った議論が有意義でした。

■圧倒的な物量と質
レクチャーに劣らず妻チェックなのが企業展示です。500社前後の出展があり多数の企業を比較検討可能なほか、初めて見るコンセプトの商品なども目白押しです。実験できるデバイスや特価の商品も多く、筆者もHBOT (高気圧酸素療法) を体験したり、NOサプリメントを購入したりしました。

■HBOT—「脳の回復×生物学的老化対策」
HBOTを含む酸素・回復系の話題が目立ち、日本よりはるかに広い疾患に利用されます。ここ数年常に最重要トピックの「ミトコンドリアサポート」についても点滴を含む栄養・運動・睡眠とあわせて「包括的に介入」する方向性が示されていました。

■NO (一酸化窒素)
—歯科と全身をつなぐ「実務的ホットスポット」
NOは血管・代謝・運動・ミトコンドリアを横断するキーワードとして再浮上しています。特に重要なのが口腔内細菌による硝酸塩→亜硝酸塩→NO経路で、口腔環境が全身のNO可用性に影響し得る点。総説では抗菌性マウスウォッシュの常用が血圧上昇や糖代謝リスクと関連する可能性も指摘されていました。

これまで「どうして忙しい年末に、ラスベガスまで行くのですか」という質問をたびたび頂いてきました。一言でお答えすれば「行けば必ず、新しいことに出会えるから」ということになるでしょう。紙面の制約からほんの一部の内容しかお伝え出来ないのが残念です。

今回のFestは今年の12月11～13日、同会場で開催です。申し込み方法などご興味のある先生はぜひお問い合わせ下さい、多くの会員の先生方と一緒に出来ることを楽しみにしております。



日本からの参加者と集まり情報交換と会食、食事やエンタメなど、ラスベガスは学会以外も充実している

最新海外医学情報 PICK UP NEWS

【総説論文】高濃度ビタミンC点滴：有望ながん補助療法としての可能性

12月に中国の研究チームが発表した総説論文で、IVCが抗腫瘍薬として有望である可能性が包括的に検討されています。論文では、高用量ビタミンCの抗腫瘍効果のメカニズムとして、プロオキシダント作用、エピジェネティック調整、免疫調整作用、標準治療との相乗効果などについて解説され、また、単剤療法・併用療法での最近の研究に関する情報もまとめられています。前臨床研究では多様ながん種で腫瘍抑制効果が確認され、初期臨床試験では化学療法との併用による治療効果向上や安全性が示唆されている現状から、今後大規模ランダム化試験の実施などを通し、効果的ながん補助療法として確立される可能性を示唆しています。



Zhao, H., Fu, W., et al. (2025). High-dose vitamin C: A promising anti-tumor agent, insight from mechanisms, clinical research, and challenges. *Genes & Diseases*, 12(10)1742.

【欧米を中心にペプチド医薬が注目】

2025年は、ペプチドおよびタンパク質医薬市場の飛躍的な成長が目立ちました。点滴・注射・経口を含むペプチド医薬は、現在80種類以上がすでに臨床で承認・使用され、さらに150以上のペプチド医薬候補が臨床試験段階、600以上が基礎研究段階で開発が進められています。現在約500億ドル規模のペプチド市場は、2030年までに倍以上に成長すると予測されています。日本ではGLP-1の認知が拡大している一方、その他の新しいペプチド医薬の一般臨床での認知は高くないのが現状ですが、代謝疾患やがん、慢性炎症性疾患などで、今後は海外の臨床データを起点に日本導入が進むことが想定されます。ペプチドは「新質な治療」ではなく、今後の標準治療の選択肢になり得る存在として、今の段階から注目のべき医療分野と言えるでしょう。

Liu, M., Svirskis, D., et al. (2025). Progress in peptide and protein therapeutics: Challenges and strategies. *Acta Pharmaceutica Sinica B*, 15(12), 6342–6381.

【A4M】2026年版アンチエイジングサプリ10選

2025年12月にA4M（米国抗加齢医学会）の公式メディアで、専門家がまとめた抗老化サプリ（栄養素）のおすすめTOP10が発表されました。ビタミンCを含むこれらの栄養素は、細胞保護、炎症抑制、肌・免疫・代謝機能の支援に関わるとされています。

【抗老化サプリ10選（栄養素と効能）】

- 1.クルクミン – 抗酸化・抗炎症作用で細胞ダメージや慢性炎症を抑え、脳機能や皮膚健康を支援。
- 2.ビタミンD – 骨強化、筋機能改善、免疫サポート、認知機能維持に寄与。
- 3.オメガ3脂肪酸 – 炎症低減、細胞保護、肌の水分保持や乾燥改善に。
- 4.CoQ10 – 細胞エネルギー産生と抗酸化で肌のハリ改善やしわ軽減。
- 5.レスベラトロール – 細胞保護、抗酸化、健康な代謝機能支援。
- 6.ビタミンC – コラーゲン合成促進、皮膚の老化サイン軽減・免疫強化。
- 7.コラーゲン – 皮膚弾力・水分保持の向上、シワやたるみの改善。
- 8.ケルセチン – 抗炎症・抗酸化で心血管・認知機能をサポート。
- 9.L-テアニン – ストレス軽減、認知機能・集中力の向上。
- 10.プロバイオティクス – 腸-皮膚軸を介した炎症低減、免疫調整、肌の健康維持。



広告

点滴療法研究会マスターズクラブ会員 限定

国内産
高濃度ビタミンC 試薬

VC25[®]

監修：点滴療法研究会マスターズクラブ会長
柳澤 厚生先生

特徴

点滴療法研究会マスターズクラブ会長の柳澤厚生先生が監修した拘りの製品。



添加物
不使用

内容成分は、
アスコルビン酸(25g/vial)、
炭酸水素Na(pH調整)のみです。



フリーズドライ製法
(常温保管が可能)

高品質なアスコルビン酸を国内
で製造し流通しています。
使用期限は製造より2年間です。

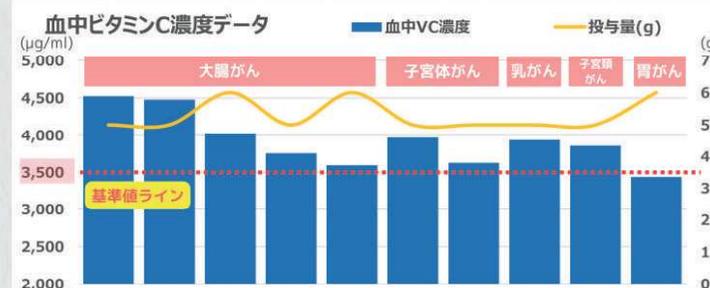


20本から
購入可能

発注はいつでも可能です。入
金確認後、1週間ほどで納品。

有効性

本剤50～60g投与で10例中9例で基準値(3500μg/ml)レベルを達成。



※データ提供：医療法人 仁善会 田中クリニック様

販売元



お問合せ先

info@medista.jp

03-6277-1114

VC25説明会の予約はこちら



製品情報はこちら(会員限定)



点滴療法研究会 認定医制度のご案内



確かな知識と専門性で
安心と信頼の医療を約束する

点滴療法は、疾患の治療や予防、アンチエイジングの手段として、広く普及し、多くの方が関心を寄せています。しかしその一方で、十分な事前検査や標準的手法を行わない医院が増えているのが現状です。

点滴療法研究会では、実践的な知識をもち、正しい方法で治療を提供できる会員医師を明確にし、患者様に安心して受診いただくために「認定医制度」を設け、この度大幅に強化しました。認定医の取得は、ご自身の専門性を客観的に証明するとともに、患者様に対して大きな安心と信頼を提供するものとなります。ぜひ点滴療法認定医を取得し、ご活用ください。

会員限定 点滴療法研究会3つの認定医



高濃度ビタミンC点滴療法
認定医



キレーション療法認定医



オゾン療法認定医

取得条件・取得の流れ等の詳細に関しては、WEBサイトをご確認ください。

詳細はこちら▶



学びをカタチに。認定医で広がる可能性。

認定医特典およびサポート



- 公式認定証の発行 ※額縁は別売りです。
- 〈年別〉公式認定医ポスターの提供
- 院内動画への公式認定医マークスライド追加 ※院内動画は別途購入が必要です。
- 認定医 公式クリスタル **有料サービス**
- 公式認定医サイト「認定医取得者リスト」への掲載
- 公式認定医バナーの提供 ※ウェブサイト掲示用
- 「クリニック検索」での優先上位表示
- 「クリニック検索」での公式認定医マーク表示
- 認定医限定 学習サポート



公式認定医サイト

認定医取得者はこちらから確認できます



会員サービスのご案内

会員サービス一覧

様々な会員サービスをご用意しています。ぜひ、ご活用ください。

認定医制度 ▶詳細は20・21ページ

- ・高濃度ビタミンC点滴療法認定医
- ・キレーション療法認定医
- ・オゾン療法認定医

薬剤・試薬ご紹介

- ・ビタミンC
- ・NMN / NAD+
- ・ビタミンB群
- ・幹細胞培養上清 / エクソソーム 等
- ・グルタチオン

学習サポート

- ・セミナー優待（参加費割引）
- ・医学情報の提供
 - 症例・論文
 - 各種プロトコル
 - 学習動画
 - 医学コラム
- ・会員専用 Q&A
 - 治療に関する Q&A
 - 法律に関する Q&A
- ・他学会連携（全11学会）

クリニック運営サポート

- 集患サポート
 - ・クリニック検索掲載
 - ・クリニック詳細ページ作成（有料）
 - ・点滴に関する広告配信
- 販促サポート
 - ・点滴パンフレット&ポスター（有料）
 - ・院内販促動画（有料）
 - ・リンク用バナー配布
- スタッフ教育
 - ・手技マニュアル・動画
- その他
 - ・導入サポート面談
 - ・点滴療法同意書ダウンロード
 - ・書籍掲載
 - ・会員相互紹介（Find a doctor）
 - ・会員証発行

学習サポート

動画で学ぶ



▼動画サイト
会員ログイン後動画閲覧可能です。

セルフラーニングが可能なように、様々な点滴治療に関する無料動画をご用意しています。



会員Q&A

医学的質問

当会ボードメンバーが回答
点滴療法研究会マスターズクラブ
会長 柳澤厚生 先生他



NEW

法的質問

リーガルアドバイザー
コネクト法律事務所 弁護士
入倉進先生が回答



点滴療法を安全に提供することを目的に、会員限定で医学的質問を受付けております。さらに、リーガルアドバイザーとして入倉弁護士をお迎えし、法的な質問に対応できる体制を整えました。

症例論文 プロトコル



会員サイトでは点滴療法に関する各種プロトコルをはじめ、症例や論文などの資料をご紹介します。

マスターズクラブ
会員サイトログイン



会員IDを忘れてしまった方
パスワードを忘れてしまった方

事務局までご連絡いただくか、毎月の会員通信メールマガジンに記載の会員番号をご確認ください。
ログイン画面上よりご自身で再設定が可能です。

クリニック運営サポート

スタッフ教育

あると便利な保存版。スタッフ教育や質の向上に！

永久保存版



点滴手技マニュアル

点滴バッグの準備から穿刺までの一連の流れやコツをマニュアルと動画で詳しく解説。これから導入するクリニックだけでなく、振り返りにも重宝されるロングセラー商品です。

▼オンラインショップ



ログイン後会員価格で購入可能です。

点滴手技動画

- 穿刺のコツ・血管の選び方
- ミキシング・プライミングのコツ
- 点滴中のおこりやすいトラブル
- 点滴療法の質を上げるコツ

集患強化

クリニックの認知拡大や集患をサポート！

インスタ広告も！

年間14万回以上検索

クリニック検索掲載
& 詳細ページ作成



患者様向け記事
毎月更新中

当会ウェブサイトのクリニック検索一覧にて自院の情報を詳しく掲載。点滴療法を受けたい患者様への強力な訴求ツール。

院内販促

患者様の興味喚起と理解促進に最適！

デジタルサイネージ

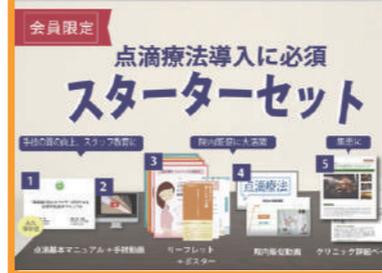
リーフレット
(+掲示用A3ポスターつき)



全6種

- 概要編
- 高濃度ビタミンC点滴療法（がん治療版）
- 高濃度ビタミンC点滴療法（アンチエイジング版）
- マイヤーズカクテル点滴療法
- 歯科医院における点滴療法
- グルタチオン点滴療法（美容版）

患者様の興味喚起と理解促進のために、リーフレット&ポスターおよび院内動画（デジタルサイネージ）をご用意。患者様の目の留まりやすい待合室などでご活用ください。



点滴療法導入時に揃えたい「スターターセット」。
点滴療法を患者様に提供するために必要な各種ツールや院内販促を会員の先生向けに特別価格でご用意しています。

<< セット内容 >>

- ・点滴手技基本マニュアル
- ・点滴手技動画
- ・リーフレット+ポスター
- ・院内動画（デジタルサイネージ）
- ・クリニック詳細ページ作成

詳細は、
オンラインショップで



会員ログイン後購入可能です。

サルベストロール プラチナム2000

広告

全国600以上の医療機関で導入されている メディカル・サプリメント

植物由来の注目成分・サルベストロールを配合したサプリメント。ヒトの体内で損傷を負った細胞の排除を助け、健康な体づくりをサポートします。現在では欧米諸国をはじめ、世界25か国で導入されている医療機関専売サプリメントです。



※2023年7月～2024年6月の購入者実態



サルベストロールとは？

果物や野菜などの植物が外敵から自分を守る過程で生成されます。主に農業不使用の作物に多く含まれますが、現在のヒトやペットの食事では著しく不足していると言われています。

サプリメントの含有量

1カプセル **2000**ポイント = **12,000**本相当

農業栽培のにんじん

【ポイントについて】サルベストロールは複数の植物から抽出されるため、原材料によって分量あたりの効果が異なります。一定の力価にするため、mgではなく「ポイント」という独自の単位が使用されています。

柳澤厚生先生 推奨



「サルベストロールは
医療の現場で
活用されています」

点滴療法研究会 会長
鎌倉元氣クリニック 名誉院長

皆さまへのお約束

安心・安全の品質をお約束します

ヨーロッパおよび南米産のオーガニック果物や野菜から抽出された成分をニュージーランドで加工、日本国内で梱包しています。保存料等は使用していません。



大切な家族を守るメディカルサプリメント サルベストロールペット

広告

Salvestrol® for Pets

待望のペット用！ 毎日の健康を守る 自然のチカラ



希望小売価格：¥6,061 (税込)
内容量：1袋 30粒入り
摂取目安量：1日1～3粒
原産国：ニュージーランド

※希望小売価格は一般価格とは異なります。



植物由来成分サルベストロールを含有した メディカル・サプリメント

サルベストロールは、体内で損傷を負った細胞の排除を助け、健康な体づくりをサポートします。現在、ヒト用サプリメントは、欧米諸国をはじめ世界中の医療機関で導入されています。

サルベストロールとは？

生物進化の過程で生み出された 自然のメカニズム

植物由来の成分で、果物や野菜などの植物が外敵から自分を守る過程で生成されます。主に無農薬栽培の作物に多く含まれますが、現在の人やペットの食事では著しく不足していると言われています。



防御反応により
サルベストロールを生成

最近こんなことありませんか？

- ✔ 最近、元気がない
- ✔ エサを食べなくなった
- ✔ 食べていても痩せていく
- ✔ 年をとっている
- ✔ 最近、覇気がなくなった



現代のペットは、自然な果物や野菜を
食べている野生の動物とは違い、
様々な体調の不安を感じやすいのが特徴です。

何かと不足しがちな日々の生活に
植物由来のサルベストロール
はじめませんか！



株式会社サルベストロールジャパン
〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 1-23-13 アルカイビル4F

お問い合わせ先 (平日10時～17時)
☎ 03-6450-2406
✉ info@salvestrol.co.jp

WEBサイトは
こちらから
アクセス
https://www.salvestrol.co.jp/



株式会社サルベストロールジャパン
〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 1-23-13 アルカイビル4F

お問い合わせ先 (平日10時～17時)
☎ 03-6450-2406
✉ info@salvestrol.co.jp

WEBサイトは
こちらから
アクセス
https://www.salvestrol.co.jp/



2025年点滴療法研究会 協賛企業のご紹介

<カテゴリー> サプリメント 製剤/試薬 機器 検査 その他



株式会社スピック

Lypo-Cは、微小な脂質カプセルである「リポソーム」に有用成分を閉じ込めて、からだのすみずみまで適切に届けます。

TEL.0467-24-1045

取扱い施設
600件以上

株式会社 サルベストロールジャパン

サルベストロールは、農業不使用の野菜や果物に多く含まれる植物栄養素。弊社ではイギリス発の最先端研究に基づいたサルベストロールサプリメントを展開しています。健康なからだづくりをサポートするサルベストロールは、国際特許技術で生産され、保存料などは不使用。ペット用もリリースされるなど、ますます注目を浴びています。

TEL.03-6450-2406



株式会社 アイダンプロダクツジャパン

AIDAN PRODUCTS

柳澤先生で監修の異次元の体感と話題のミトコンドリア活性MitoATPや足が深呼吸するAIR-ONE・ビタミンC点滴に必須のIVC-MAXの取扱いをしております。

TEL.03-6811-1318



株式会社 アルガルバイオ

不眠剤の代わりに、藻サプリ Moneru。東京大学での20年以上の研究から「脳の炎症を抑制する」独自のクロレラ株を見出し、睡眠の質を改善するサプリメントを開発しました。

TEL.04-7138-6207

株式会社 ドクターズ・マン

ドクターズ・マン

水素ガスを適正濃度かつ衛生的に吸入するために開発された水素吸入機。慶大医学部が推進する「水素吸入治療」と同等の血中水素飽和度2.0%になることが科学的に証明された水素吸入機です。

TEL.045-905-2330



水素吸入機H2J11

LipoVit

ベネビオ株式会社

リポビットは、ナノサイズのリポソームカプセルに栄養素を封入し、吸収性を高めた国産リポソームサプリメントです。ビタミンCやGSH、CBD、NMN、ビタミンDなど、分子栄養学において重要な成分を効率よく吸収させます。さらに、続けやすさにもこだわって、リポソームサプリメント特有の飲みにくさを解消し、健康と美しさをサポートします。

TEL.03-6804-6046

株式会社 DORIS

2018年創業。“若返りを医学する”をテーマに、抗加齢系医学会との共同研究・発表を重ね、日本発・世界初の概念『NEOAGING (若化)』を提唱。同年、医療機関での専用流通を目的とした第3世代GHRP-2複合アミノ酸製剤『Cellactin』をリリース。2024年には専用NMN/幹細胞上清シリーズも加わり、新たなキャッチフレーズ『Aging TIME MACHINE』とともに海外展開/OEM製品受託も始まりました。

TEL.03-3564-1550



株式会社メディスタ

柳澤会長が監修し拘った国内産の高濃度ビタミンC点滴製剤です。お蔭様で大変多くの会員様にご活用いただいております。

- 【特徴】
- ・高品質な原材料を使用(添加物/保存剤不使用)
 - ・フリーズドライ製法(常温保管可能)
 - ・小ロットからご注文可能(20本〜)

TEL.03-6277-1114



製造 / 東栄新薬(株) 販売 / (株)ケーエー ナチュラルフーズ

露地栽培アガリクスKA21の研究・販売会社。34本の国際論文に基づき免疫増強、腸内環境改善、育毛、更年期障害(男女)、インプラントケア用のサプリをご紹介します。

TEL.0422-72-8120

株式会社 First・Health・Japan

唾液・尿・便検体等を使用した非侵襲検査を中心にNAD+、遅延型フードアレルギー検査、副腎疲労、男女性ホルモン検査、ビタミンD・G6PD迅速検査等の導入をサポートいたします。

TEL.0463-20-9070



アークレイマーケティング株式会社	血中のビタミンC相当値を簡単にチェック	TEL:050-5527-7700
株式会社アイシン	美容機器 ウィンセル	TEL:090-6394-8788
アンブロシア株式会社	ソーラーD/リーキーガット検査	TEL:044-299-7946
イチバンライフ株式会社	横浜市大の若返り研究で生まれたハーブ製剤	TEL:045-271-5587
株式会社医道メディカル	ヒト臍帯WJ由来培養上清液試薬	TEL:03-6260-0071
Wismettac フーズ株式会社 ナチュメディカ事業グループ	医療機関専売サプリメント	TEL:03-6870-2006
株式会社ウェルハート	承認薬、輸入品(グルタチオン)	TEL:03-6812-5501
株式会社 AOB メディカル	グルタチオン	TEL:03-6427-7785
NAD クリニック	NADclinic 製品を提供	TEL:03-4214-2020
一般社団法人 NMN 医療研究会	β-NMNを原材料にした点滴研究用試薬	TEL:03-6263-0151
株式会社 MSS	医療機関専用サプリメント	TEL:03-5366-0208
オーガニックサイエンス株式会社	マグネシウム製品	TEL:0120-659-151
有限会社クマック	免疫システムの精度を高めます	TEL:092-406-7168
有限会社クレアラボジャパン	乳酸菌サプリメント	TEL:045-534-9518
株式会社 玄米酵素	玄米を麹菌で発酵した玄米酵素	TEL:03-5625-2345
医療法人社団 THE CLINIC Institute AZACLI 麻布クリニック	EXOSOMEの製造・臨床研究	
株式会社三和製薬	臨床試験中の幹細胞エクソソーム	TEL:03-6228-3516
株式会社 すかい21	Scanアナライザー ガンマプロ	TEL:090-8834-6380
セルメディカ株式会社	癌性疼痛緩和・最強の抗炎症物質	TEL:06-6532-3589
株式会社 SOPHIA	ポストバイオティクス腸活サプリ	TEL:03-6276-1551
第一産業株式会社	口腔内専用パワーフォコイダンマウスジェル	TEL:06-6131-0370
共同購入 VC 受注代行センター	MylanVC 製剤の輸入代行	TEL:03-6300-0152
株式会社デトックス	海外の機能性検査、治療製剤、サプリ取扱い	TEL:03-5876-4511
一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会	栄養療法の理解と認知のため活動しています。	TEL:03-6821-1461
日本ダグラスラボラトリーズ株式会社	液体サプリメントとPURE	TEL:03-5530-2212
株式会社 ニュートリション・アクト	幹細胞活性リバースエイジングサプリメント	TEL:03-3538-5811
株式会社バイオキングダム	水素タンブラー・検査キット	TEL:03-6260-0071
株式会社ビーアンドエス・コーポレーション	医療機関専用 乳酸菌サプリ『アルベックス』	TEL:03-3288-0068
株式会社ヘリックスジャパン	業界最高水準の水素発生量	TEL:03-3234-8000
Medvice 株式会社	サブスク型点滴サービス	TEL:03-6825-0640
株式会社ユニバーサルトランスエンディング	プラセンタ健食、化粧品、医薬品	TEL:03-3666-8882
株式会社 LIVIUS JAPAN	イミュノD	TEL:03-6903-1147
株式会社 LiNK	ヨウ素製剤に関する臨床・研究・学術活動	TEL:03-6417-1920
一般社団法人 臨床水素治療研究会	水素を用いた疾病の治療や予防効果の調査研究	TEL:03-6435-7150